

# 公共あずま No. 29 マンホールポンプ場外ポンプ更新工事

稲敷市西代地内

稲敷市下須田地内

特記仕様書

## 第1章 一般事項

### 1 適用範囲

- (1) 本特記仕様書は、公共あずま No. 29 マンホールポンプ場外ポンプ更新工事に適用される。
- (2) 本仕様書に定めていない事項については、監督員との打合せによるものとする。

### 2 施工場所

稲敷市西代地内、及び下須田地内

### 3 工事期間

本工事は、工事契約の日から10日以内に着手し、竣工期日を遵守し、一切の工事を完了しなければならない。

工事期間は、契約日の翌日から令和8年12月18日までとする。

### 4 法、規準、規格等の遵守

受注者は、工事の施工、機器の製作据付けにあたり次の各事項を遵守すること。

- ・労働基準法
- ・労働安全衛生法
- ・建設業法
- ・公害対策基本法
- ・水質汚濁防止法
- ・大気汚染防止法
- ・悪臭防止法
- ・下水道法
- ・電気事業法
- ・道路交通法
- ・騒音規制法
- ・日本工業規格(JIS)
- ・日本電機工業会標準規格
- ・その他関係法令、条例、規格

### 5 提出書類

受注者は、契約締結後速やかに稲敷市建設工事執行に関する事務取扱要領に基づき、下記の書類を各1部提出すること。

- (1) 受注者は施工に先立ち、施工承認申請図として次の書類を提出すること。

- ① 工事着手届・工程表・施工計画書
- ② 現場代理人等選(改)任通知書及び資格書の写し

③使用材料及び使用機器の承認願

(2) 下請負契約がある場合は、次の書類を提出すること。

①施工体制台帳

②施工体系図

③下請負通知

(3) 施工中の立会や変更内容等における場合は、次の書類を提出すること。

①工事立会願

②工事打合せ簿

(4) 受注者は工事完了に際して、完成図書として次のものを提出すること。

①工事完成通知書

②記録写真（着手前・施工中・新旧機器交換部品・完成）

③完成図書

上記のほか、監督員が提出するように指示した書類は、指定期日までに提出すること。

## 6 検査

現地において試験運転を行い、ポンプが正常に稼働していることを確認するものとする。

## 7 材料保管

工事の竣工まで機器、材料の保管の責任は受注者にあるものとする。

## 8 保証期間

(1) 機器の保証期間は規定による引渡しを受けた日から1箇年とする。

(2) 保証期間内に明らかに請負者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合には、受注者の責任において直ちに修理または取替えをしなければならない。

## 第2章 ポンプ設備

### 2-1. 水中汚水ポンプ

#### 1. 使用目的

流入する汚水を圧送又は揚水するものである。

#### 2. ポンプ仕様

交換部品の選定にあたっては、下記の製品または同等品以上の製品とし、更新工事にあたって事前に市監督員と協議の上、承諾を受けるものとする。

#### ● No. 29 マンホールポンプ場

項 目	規格・仕様	備 考
(1) 型 式	CNWX801 (P)	吸込ベルマウス付 チェーン SUS
(2) 吐 出 口 径	100 mm	
(3) 吐 出 量	1.2m <sup>3</sup> /min	
(4) 全 揚 程	9.6 m	
(5) 効 率	メーカーによる	
(6) 回 転 速 度	1500 min <sup>-1</sup>	
(7) 使 用 材 料	ポンプケーシング：FC250 以上 主 軸：SUS420J2 又は SUS403 羽根車：SCS13	
(8) 電 動 機 出 力	2.2 kW	
(9) 周 波 数	50 Hz	
(10) 電 圧	三相 200 V	
(11) 絶 縁 階 級	F 種	
(12) 水中ケーブル長	20 m	
(13) 数 量	2 台 (No1/No2)	

● No.5 マンホールポンプ場

項 目	規格・仕様	備 考
(1) 型 式	CW80G	吸込ベルマウス付 チェーン SUS
(2) 吐 出 口 径	80 mm	
(3) 吐 出 量	0.7 m <sup>3</sup> /min	
(4) 全 揚 程	6.8 m	
(5) 効 率	メーカーによる	
(6) 回 転 速 度	1500 min <sup>-1</sup>	
(7) 使 用 材 料	ポンプケーシング：FC250 以上 主 軸：SUS420J2 又は SUS403 羽根車：SCS13	
(8) 電 動 機 出 力	1.5 kW	
(9) 周 波 数	50 Hz	
(10) 電 圧	三相 200 V	
(11) 絶 縁 階 級	F 種	
(12) 水中ケーブル長	20 m	
(13) 数 量	1 台 (No1)	

### 3. 構造概要

本ポンプは汚水を移送するもので、汚水中において連続運転に耐える堅ろうな構造とする。また、振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。

### 4. 製作条件

- (1) 気中にて 30 分連続運転が可能なものとする。
- (2) 着脱装置を既設流用する場合は、既設着脱装置と接続が出来る構造とする。

## 5. 各部の構造

### (1) ケーシング

①ケーシングは内部圧力および振動等に対する機械的強度ならびに腐食・摩耗を考慮した良質の鋳鉄製品とする。

②ケーシングは分解、組立が容易であり、分解する場合には、羽根車が主軸に取り付けられたままで、上部に取出せる構造とすること。

### (2) 羽根車

羽根車は良質強靱な製品とし、固形物の混入に対し堅牢であること。また、羽根車は平衡を十分取るとともに表面を滑らかに仕上げること。

### (3) 主 軸

主軸は電動機軸を延長したもので伝達トルクおよび振り振動に対しても十分な強度を有すること。

### (4) 軸封装置

軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中あるいは停止中を問わず、異物がモータ内に侵入しないよう中間に油を密封した二段構造とする。

### (5) 軸 受

回転部重量および水カスラストは電動機に内装した軸受で支持するものとし、長時間の連続運転に耐え、円滑な自己潤滑ができる構造とする。

### (6) フランジ（既設着脱装置を流用せず、更新する場合）

配管との接続フランジ穴あけ規格は、JIS B 2239 に準じること。また、ポンプます内配管および分解用フランジのボルト、ナットは SUS304 とする。

## 6. 保護装置

(1) 異常温度上昇を検知するマイクロサーマルプロテクタを内蔵すること。

(2) 油・水が電動機内に浸入しないよう浸水溜り室を設けること。浸水溜り室は電動機室とメカニカルシール室との間に設置し、独立した構造とする。

(3) 浸水溜り室には、浸水検知器（フロート式又は電極式 b 接点）を設け、浸水検知表示が可能な構造とする。

## 7. 塗 装

日本下水道事業団 機械設備工事一般仕様書に準ずる。（膜厚 375  $\mu$  m）

## 8. ポンプ付属品

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| (1) 水中ケーブル             | 各 1 式                     |
| (2) 吊り上げ用チェーン (SUS304) | 各 1 式                     |
| (3) 吸込ベルマウス (SUS304)   | 各 1 個                     |
| (4) ポンプ着脱装置 (FC200 以上) | 各 1 式（既設着脱装置を流用せず、更新する場合） |
| （ガイドパイプ等要部 SUS304）     |                           |
| (5) 基礎ボルト、ナット (SUS304) | 各 1 式（既設着脱装置を流用せず、更新する場合） |

## 第3章 ポンプ据付工事

### 3-1. ポンプ据付工事概要

1. 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任をもって施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
2. 機器の撤去、搬入、据付の際は、既設構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
3. 撤去した機器、材料の保管場所、処分方法については、監督員と協議し決定すること。
4. ポンプ付属ケーブルは既設電線管に入線の上、制御盤に結線を行うこと。端子への接続は圧着端子で行うこと。